

実質化された人・農地プラン（甘木地区）

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
朝倉市	甘木地区	令和3年3月31日	令和5年8月31日

1 対象地区の現状

1) 地区内の耕地面積（市農地台帳より）	47.3 ha
2) アンケートに回答した地区内の農業者の耕作面積合計	37.0 ha
3) 地区内の75歳以上の農業者の耕作面積合計（市農地台帳より）	8.2 ha…A
i) Aのうち、アンケートに回答した面積合計	4.8 ha…B
① Bのうち、後継者がいる 面積合計	1.7 ha…C
② Bのうち、後継者がいない 面積合計	3.1 ha…D
ii) Aのうち、後継者について不明の面積合計（A-C-D）	3.4 ha
4) 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積合計	-12.0 ha…E
（備考）※貸付け等の意向が確認された農地は、92筆、5.9haとなっている。 ・今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積よりも、75歳以上で後継者未定の農業者の耕作面積の方が、15.1 ha (D-E) 多く新たな農地の受け手の確保が必要。	

2 対象地区の課題

・中心市街地であり、農地は減少傾向にある。 ・甘木地区内はほ場整備されていないので、耕作条件が悪い。 ・後継者がいない。 ・農業用機械が高額であり経営を圧迫している。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

・水田を始め認定農業者及び生産組合に集約化を図る。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

・本町生産組合及び認定農業者を中心に農地利用を行う。
--

5 今後の地域の中心となる経営体（別紙）